

1. 基本的診療能力等		
(1) 基本的診察・検査・診断・診療計画		
到達目標	研修内容	必要症例数
① 患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する	患者の話を誠実に聴いて、患者の立場を理解する	3症例
② 全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する	問診票で現病歴・既往歴および内服薬を確認したうえで、診察を行い診断と可能な治療を行う。	3症例
③ 診察所見に応じた適切な画像検査や血液検査を選択、実施し、検査結果を解釈する	炎症/腫瘍/嚢胞疾患の鑑別を考慮して、パントモやCT撮影と血液生化学検査を行い、診断へ導く	3症例
④ 病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う	患者の主訴・既往・現症・画像所見・血液検査結果より診断する	3症例
⑤ 診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する	診断に対し、歯科治療で対応可能か口腔外科処置が必要かを判断し、基礎疾患も考慮したうえで、治療計画を立てる	3症例
⑥ 必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する	病状と診断および治療の選択肢を、書面をもって図と文章で説明し、同意を得る	3症例
(2) 基本的臨床技能等		
到達目標	研修内容	必要症例数
① 歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する	歯式・歯周ポケット測定・歯の動揺・歯肉出血の有無・プラーク染色など基本検査を行い、ブラッシング指導する	3症例
② 一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する a. 歯の硬組織疾患 b. 歯髄疾患 c. 歯周病 d. 口腔外科疾患 e. 歯質と歯の欠損 f. 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下	a. 齶歯の進行に応じた修復治療 b. 歯髄炎・歯髄壊死に対する歯内療法 c. 歯周病の進行に応じた歯周治療とメンテナンス d. 保存不能な歯の抜歯と抜歯後出血などの術後管理 e. 歯質欠損の程度に応じた充填・補綴修復、および歯の欠損に応じたブリッジ・義歯治療 f. 顎変形症の外科治療や口腔癌の再建	各3症例
③ 基本的な応急処置を実践する	歯科治療であれば、歯質欠落に対する暫間充填、急性歯髄炎の抜髄治療、および破折義歯の修理など 口腔外科治療であれば、歯肉・歯周膿瘍の切開排膿や、外傷動揺歯の暫間固定など	3症例
④ 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する	外科処置の際に、酸素飽和度・血圧・脈拍をモニタリングしながら異常に注意して安全に行う	3症例
⑤ 診療に関する記録や文書(診療録、処方せん、歯科技工指示書等)を作成する	電子カルテ上で、診療録はSOAPの項目ごとに記載し、処方箋・技工指示書も用量・内容を項目ごとに正確に記載する	3症例

⑥ 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する	医療安全マニュアルに基づき、患者確認や針刺し防止策を徹底させ、問題を生じた場合はインシデントレポートを作成して再発防止を徹底する	3症例
(3) 患者管理		
到達目標	研修内容	必要症例数
① 歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する	腎疾患患者におけるNSAID剤の使用量、腎透析患者における抗菌薬使用量の説明など	3症例
② 患者の医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する	心疾患患者における外科処置時の抗血栓剤・抗凝固薬継続の可否などを対診する	3症例
③ 全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う	治療に際して、高血圧症患者の血圧モニタリング、呼吸器疾患患者の酸素飽和濃度モニタリングなど	3症例
④ 歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する	気分不良時に血圧・酸素飽和度測定を行い、必要に応じて酸素吸入やルート確保して対応する	3症例
⑤ 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する	手術患者に対して、周術期口腔機能管理に加え、術前の休止薬、術後の追加薬を確認し、血液検査データとバイタルサインの定期的なチェックを行う	3症例
(4) 患者の状態に応じた歯科医療の提供		
到達目標	研修内容	必要症例数
① 妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する	それぞれのライフステージにおける齲蝕や歯周疾患の罹患リスクを把握して、ブラッシング指導などの口腔ケアを行う	5症例
② 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する	ライフステージにより基礎疾患の有無が大きく異なることを把握し、医科の主治医とも綿密に連携して安全な歯科治療を行う	5症例
③ 障害を有する患者への対応を実践する	寝たきり状態の患者に対して、誤嚥防止に努めながら口腔ケアや歯科治療を行う	1症例
2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等		
(1) 歯科専門職間の連携		
到達目標	研修内容	必要症例数
① 歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理等の際に連携を図る	周術期口腔機能管理に際して、歯科衛生士と相談しながら計画作成と治療を行う	3症例
② 歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る	補綴物作製に際して、咬合や安定性を考慮した設計を、歯科技工士と相談しながら行う	1症例
③ 多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する	院内のNSTラウンドに参加して、栄養士・理学療法士・他科の医師らに、治療後の早期回復のための患者にあわせた口腔ケアの必要性を説明していく	3症例

(2) 多職種連携、地域医療		
到達目標	研修内容	必要症例数
① 地域包括ケアシステムについて理解し、説明する	院内の訪問医療チームの地域包括ケアシステム活動をもとに、その内容理解して説明できるようになる	1症例
② 地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する	院内の訪問医療チームの地域包括ケアシステム活動における医療ケア・サービスの一つとして、口腔ケアの重要性を説明する	1症例
③ がん患者等の周術期等口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する	すでに公表されている癌患者の術後SSI予防に、周術期口腔機能管理が貢献している内容を理解したうえで、その重要性を他職種に説明し、口腔機能管理を行う	3症例
④ 歯科専門職が関与する多職種チーム(栄養サポートチーム、摂食嚥下リハビリテーションチーム、口腔ケアチーム等)について、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携する	院内のNSTラウンドに参加して、栄養士・理学療法士・他科の医師らとともに、治療後の早期回復のための患者にあわせた口腔ケア実践していく	3症例
⑤ 入院患者の入退院時における多職種支援について理解し、参加する	口腔外科手術患者に関して、院内の入退院支援センターが果たす役割を理解して、参加する	3症例
(3) 地域保健		
到達目標	研修内容	必要症例数
① 地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する	地域の保健・福祉の関係機関の講演会に参加して理解を深め、指導歯科医に説明する	1症例
② 保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する	保健所での地域歯科保健活動に関する研修を受けて、その内容を、指導歯科医に説明する	1症例
③ 保健所等における地域歯科保健活動を経験する。	保健所での地域歯科保健活動に関する研修を1日受ける	1症例
④ 歯科健診を経験し、地域住民に対する健康教育を経験する	研修協力施設で、社員の歯科検診に参加し、歯科健診の意義を説明する	1症例
(4) 歯科医療提供に関連する制度の理解		
到達目標	研修内容	必要症例数
① 医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する	歯科医療に関する法規と制度を、書籍をもとに理解して、指導歯科医に説明する	1症例
② 医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する	歯科医療保険制度を、指導歯科医の説明を受けて、適切な保険診療を行う	1症例
③ 介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する	介護保険制度の目的と仕組みを、書籍をもとに理解し、指導歯科医に説明する	1症例